

## 平成27年度情報化施工推進連絡会の開催について

北海道開発局 事業振興部 機械課

### 1. はじめに

平成28年2月に開催された『情報化施工推進連絡会』の開催概要について報告致します。

情報化施工推進連絡会は、北海道における情報化施工の普及促進に寄与することを目的に、情報化施工に関する情報提供・意見交換等を行っています。

本連絡会は、情報化施工推進戦略と平行して「情報化施工推進検討ワーキング」を平成21年3月に設立し、その後、平成25年3月の「情報化施工技術の一般化」を踏まえ、土木施工会社、建機・レンタル会社、測器・ソフトウェア会社等から構成する「情報化施工推進連絡会」へ移行しました。

### 2. 開催概要

日時：平成28年2月23日(火) 14:00～16:00

場所：JCMA北海道支部さつけんビル

6階会議室

参加者 50名

(会員会社等36名、事務局9名、報道関係5名)



写1 情報化施工推進連絡会全景

#### (1) 情報化施工の取り組み状況の報告

北海道開発局と北海道建設部における情報化施工の実施件数、実施状況について報告がされた。

北海道開発局からは、平成20年度以降の直轄工事での実施件数が年々増加している状況や、全国目標よりも北海道はTS出来形計測、

MCモーターグレーダの活用率が上回っている状況、MGブルドーザ・MGバックホウの活用が全国平均よりも多く活用されている状況が報告されました。

また、北海道建設部からは、平成26年4月に今後5カ年の実施方針を策定し、今年度のTS出来形計測の試行工事を行った状況、発注者・受注者からの感想について、「出来形管理作業や写真管理作業の軽減や効率化された」などの報告がなされました。

#### (2) 「i-Construction」の概要について

平成27年11月24日、国土交通大臣より新たな施策として発表され、その概要について説明がされました。

「i-Construction」は、トンネル工事などに比べ土工やコンクリート工の1人あたり労働生産性が低いこと、依然として多い建設労働災害、将来予想される建設技能労働者の高齢化による大量離職などを背景とし、「①ICT技術の全面的な活用」、「②規格の標準化」、「③施工時期の平準化」の3つを柱とした、建設現場の生産性向上を施策目標としています。

情報化施工に関する「①ICT技術の全面的な活用」は、UAVやレーザースキャナーによる3次元計測技術を活用し、起工測量や現況測量から、施工途中の施工管理・土量算出、完了検査・出来形計測など、工事の最初から最後まで一貫した3次元データの活用を図り、工事の効率化を進める全体イメージについて説明がされました。

また、UAVやレーザースキャナーによる3次元計測データの導入に当たっては、新たな基準や要領などについて、予定されているスケジュールの見通しや、積算・発注方式の整理、「①ICT技術の全面的な活用」に対する課題などの説明が報告されました。

#### (3) 情報提供

情報提供として、情報化施工に関連する2件の情報提供がありました。

- 「スマート・コンストラクション」の紹介  
(コマツ建機販売(株) 平野氏)
- 「オペレータをストレスから解放する画期的なUAVの紹介」  
(ジオサーフ(株) 藤田氏)

#### (4) 平成28年度推進連絡会活動方針(案)について

これまで、北海道開発局が主体となって推進連絡会を運営してきたが、会員の構成として様々な業界が加盟しているメリットを活かし、今後は、会員自らが情報を発信して、会員相互の情報交換が出来る形態へ活動内容を変更していく方針が事務局より提案されました。

#### ■事務局体制(案)

次年度以降の事務局体制としては、新規に建機・レンタル会社から追加する事が提案され、選任に当たっては事務局一任とすることとなりました。

また、平成28年度の本連絡会の開催は、「i-Construction」の経過報告などもあるので第1四半期と、取り組み状況や課題などの報告を第3四半期と考え、年2回の開催とすることに決まりました。

#### ■情報化施工データベースの公開について

平成27年度は、日本建設機械施工協会北海道支部のホームページに9月迄の情報を掲載しました。

今年度分は、3月末迄の情報を4月に同ホームページに掲載する予定としています。

また、次年度のデータベースについては、年2回更新として、9月末、12月末現在で取り纏めて公表する予定としました。

#### ■会員相互の情報共有

今回の開催にあたり、事前のアンケート結果

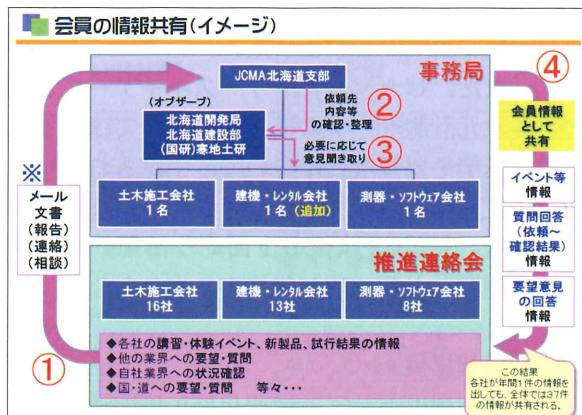


図1 会員の情報共有(イメージ)

果から、会員相互の情報共有・情報交換が不足しているという現状を踏まえ、今後は、各社が実施した工事の情報や、新しい機械の情報、講習会・イベントなどの発信したい情報や、施工の問題点などの聞きたい情報を、JCMA北海道支部を中継し、情報交換することが提案され、了承されました。(図1)

#### (5) 意見交換

情報化施工に精通した技術者やオペレータの養成が施工会社の課題となっていることから、建機・レンタル会社などの講習体制などについて現状を伺ったところ、各社とも概ね「希望があれば、有償で実施する。」という回答内容でした。

#### (6) その他の提案事項

##### ■情報化推進連絡会の改称について

本連絡会の名称について、「i-Construction」の発足にあわせ、変更した方が良いという要望があり、「ICT」のキーワードを含めつつ事務局で検討して、次年度から改称して実施する事が報告されました。

#### 3. 終わりに

昨年11月24日に、石井国土交通大臣から「i-Construction」発足の発表がありました。それに伴い、北海道開発局でも推進本部を3月1日に立ち上げ、報道発表を行いました。

「i-Construction」は、コスト削減を目指すものではなく、生産性が向上することにより、企業の経営環境を改善し、労働者の賃金向上、安全性向上につなげ、魅力ある建設現場を目指しています。

今後、本連絡会を活用して頂き、i-Construction推進の一助となる様、会員皆様のご協力を引き続きお願いしたいと思います。

#### 【お知らせ】

情報化施工、CIM、ロボット化など、建設ICTに関するご意見、ご要望、情報提供などをお受けするメールボックスを常設しています。

Mail : hkd-ky-kensetu-ict@ml.mlit.go.jp  
ご利用いただければ幸いです。